

03 コロンブス HOT Angle
**地方創生の現状と課題
都道府県知事の新春メッセージ**

16 特別編集顧問・浅野純次の「グローバル人間図鑑」
**インバウンドの「目」で地域産業を育成
「地方のグローバル化」で地方創生**
ゲスト/山崎 朗 (中央大学経済学部 教授)

コロンブス interview

- 20 特選銘柄
刀剣ブームで知名度が急上昇中!!
世界に向けて瀬戸内の「地域資源」を強力発信
ゲスト/武久顕也 (瀬戸内市長)
- 24 10年後をリードする未来企業
高崎駅近くで居酒屋2店を経営
目指すは地域の「お馴染みの店」
ゲスト/伊藤 唯 (㈱アレック 代表取締役)
- 31 観光立国を支える人たち
「大地の芸術祭」で知名度上昇中
十日町市のアートと食文化
ゲスト/関口芳史 (十日町市長)
- 34 華北導報 新華僑インタビュー
世界特許の技術と開発力で
つくばから上場企業を目指す
ゲスト/王波 (つくばテクノロジー㈱ 代表取締役社長)

連載 column

- 13 大地の顔 (東京都中央区)
松野 弘 (㈱松野屋 代表取締役)
- 23 ビジネスドクター
トランプ次期大統領の保護貿易路線を
注視しつつ、国内政策は見習うべき (是枝伸彦)
- 36 読書の時間
かつての「ジャパン・バッシュャー」が描く
日本復活のシナリオ
著者/今泉道雄 (地域活性化プロデューサー/㈱CCJ 専務取締役)
- 38 オホーツクの進路
例年以上に寒さが厳しい冬に
紋別バイオマス発電所が稼働開始
- 82 食の経済ノート
ゴマ
著者/浅野純次 (本誌特別編集顧問)

経営のヒントを発見

- 19 プレネット21/明日のビジネスを拓くキーワード vol.13
電通の「鬼十則」は批判される内容なのか
「ビジネス創造型」の社員が会社を進化させる
著者/瀬本博一 (㈱CES 代表取締役/NPO法人プレネット21 代表理事)
- 26 多摩の力
2017年から業界初の10年保証で本格販売
*超・長寿命LED電球「タフらいと」を開発
ゲスト/加賀谷史央 (KKテクノロジーズ㈱ 代表取締役)
- 28 元気のでる地域連携塾
「ロイヤルフィッシュ」で地域おこし
山深い小村がチョウザメ養殖に挑戦
(愛知県豊根村/豊根フィッシュファーマーズ)
- 72 原発ゴミ処理問題と地域振興
浜岡原発が進める地域共生戦略
*持てる資源、をいかに生かすか

今月のピカ企業&ふるさと NEWS

- 32 在京ふるさと会がふるさとを元気にする!!/ふるさとはしかみ会
- 39 コロンブス総研
◇企業ウォッチャーが推薦する地元の元気企業
◇会計人の眼/会計人アナリストが予測する地元経済
◇好評連載 ニッポン列島地域力データバック
全国47都道府県&東京23区で話題のTOPIXを各地の地域通信員、
地域発フリーペーパーが発信
- 66 ふるさと往来新聞
- 70 蔵元の会
- 80 そのまんま食べる便/牡蠣の家しおかせ3点セット
- 83 島の産業力・奄美の宝

東方通信社 BOOK REVIEW

東方通信社 検索

最新
大國中国の民衆白書
著:袁岳、張軍ほか
中国の第一線アナリスト
による経済大図・中国の
「都市マーケット論」。中
国ビジネス関係者には必
携の書だ。
定価 1620円 (税込)

これからの
ベトナム
ビジネス
著:藤木俊典ほか
ベトナムで日系企業のビ
ジネスをサポートし続けるベ
トナムビジネスのプロフェッ
ショナルたちが、ベトナムビ
ジネスの神髄、そしてビ
ジネスチャンスに迫る。
定価 1512円 (税込)

隔月刊「島へ。」
東方通信社グループの海
風舎が発行する日本で唯
一の島マガジン。特集で
取り上げる島の観光や産
業といった情報のほか、著
者作家陣による連載も必
見。
定価 842円 (税込)

月刊「e コロンブス」
次世代のITビジネスを牽
引するビジネスモデルが満
載。IT関連の新聞ダイ
ジェスト記事、ITビジネス
モデル、ネットセキュリティ、
新製品の開発状況をタイ
ムリに掲載。
定価 1020円 (税込)

問い合わせ: 「コロンブス」編集部 TEL: 03-3518-8844 E-mail: jimukyoku@tohopress.com

コロンブス

MONTHLY COLUMBUS

ビジネスの新大陸を発見!!

1 2017
JAN
700円

2017 都道府県知事の新 新春メッセージ

NEW YEAR MESSAGE VIA COLUMBUS

地方創生の
現状と課題は何か。
起業力を養成し
地場産業の育成をはかれ!!

「元気でる地域連携塾」
1200人の
山深い小村が
チョウザメ養殖に挑戦
豊根フィッシュファーマーズ (愛知県豊根村)

「特選銘柄」
刀剣ブームで知名度が上昇中
岡山・瀬戸内市の
異色グローバル戦略
武久顕也 瀬戸内市長

PICK UP!

「特別編集顧問・浅野純次の「グローバル」人間図鑑」インバウンドで新しい地域資源を発掘!!
「地方のグローバル化」で地方創生

山崎 朗
中央大学経済学部
教授

フロンティア

1月号

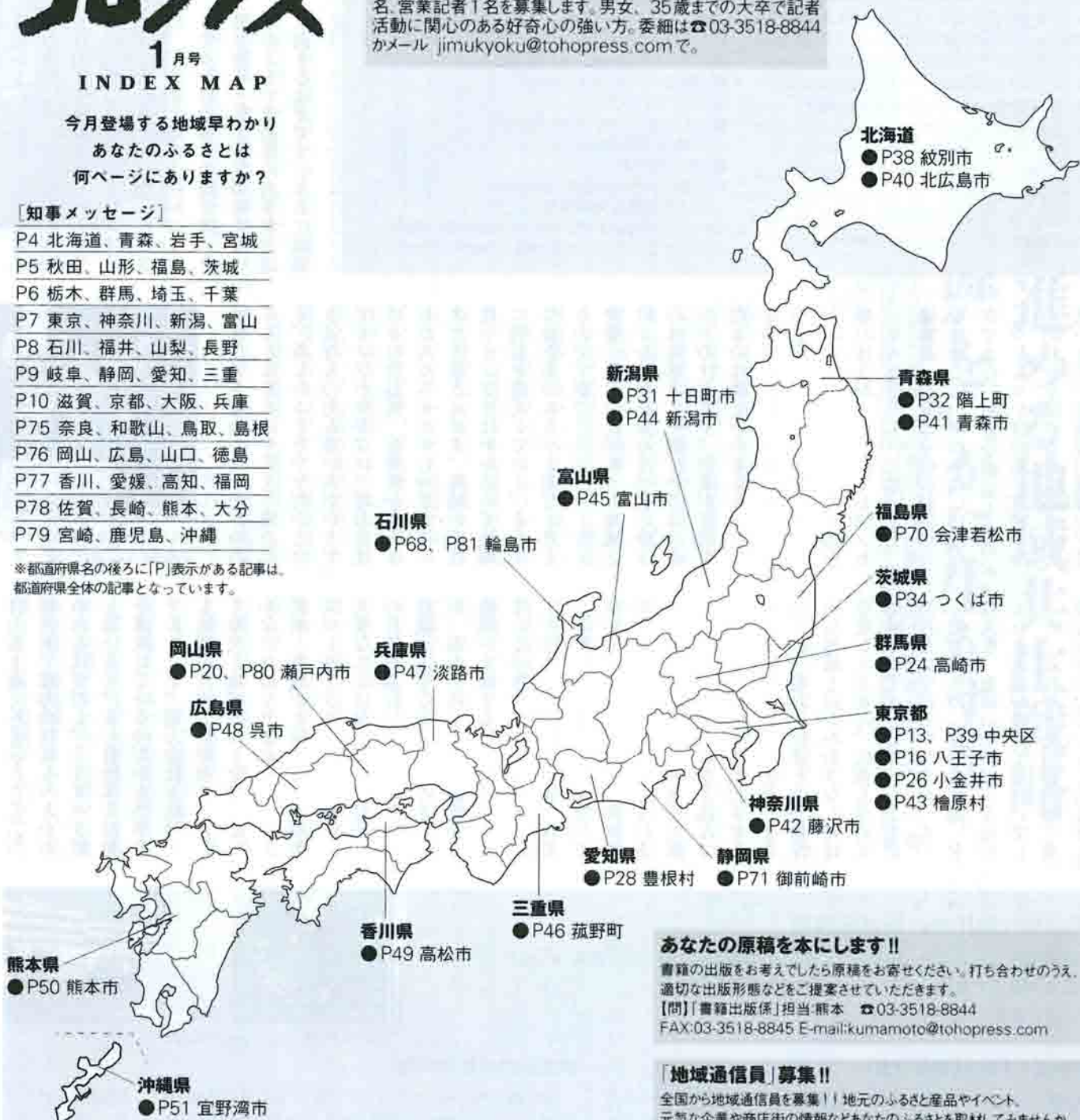
INDEX MAP

今月登場する地域早わかり
あなたのふるさとはい
何ページにありますか？

[知事メッセージ]

- P4 北海道、青森、岩手、宮城
- P5 秋田、山形、福島、茨城
- P6 栃木、群馬、埼玉、千葉
- P7 東京、神奈川、新潟、富山
- P8 石川、福井、山梨、長野
- P9 岐阜、静岡、愛知、三重
- P10 滋賀、京都、大阪、兵庫
- P75 奈良、和歌山、鳥取、島根
- P76 岡山、広島、山口、徳島
- P77 香川、愛媛、高知、福岡
- P78 佐賀、長崎、熊本、大分
- P79 宮崎、鹿児島、沖縄

※都道府県名の後ろに「P」表示がある記事は、都道府県全体の記事となっています。



新雑誌創刊!! 編集記者募集!!
 東方通信社では来年の3月末、新雑誌を創刊します。編集記者3名、営業記者1名を募集します。男女、35歳までの大卒で記者活動に関心のある好奇心の強い方。委細は☎03-3518-8844 かメール jimukyoku@tohopress.comで。

あなたの原稿を本にします!!
 書籍の出版をお考えでしたら原稿をお寄せください。打ち合わせのうえ、適切な出版形態などをご提案させていただきます。
 【問】「書籍出版係」担当:熊本 ☎03-3518-8844
 FAX:03-3518-8845 E-mail:kumamoto@tohopress.com

「地域通信員」募集!!
 全国から地域通信員を募集!! 地元のふるさと産品やイベント、元気な企業や商店街の情報などあなたのふるさとを取材してみませんか。
 【問】「地域通信員」係 担当:花澤 ☎03-3518-8844
 FAX:03-3518-8845 E-mail:jimukyoku@tohopress.com


2016年12月27日発行 1月号 vol.182 通巻669号
 発行人・編集人:古川 猛
 発行:東方通信社
 発売:株式会社ティ・エー・シー企画
 〒101-0054
 東京都千代田区神田錦町1-14-4 東方通信社ビル4F
 ☎03-3518-8844 FAX03-3518-8845
 http://www.tohopress.com
 印刷・製本:(株)シナノ

[地域通信員]青森県 齋島聖人、岩手県 本正義、秋田県 大野浩二、山形県 星名美希、茨城県 橋川栄作、栃木県 小田桐千佳子、群馬県 江原雅行、埼玉県 水野美奈、富山県 稲垣岳彦、石川県 三浦麻美、伊藤江梨、福井県 村山匡代、長野県 出澤俊明、三重県 古市尚子、滋賀県 伊藤雅博、渡辺千実、京都府 鈴木康久、兵庫県 清水奈緒美、高宮根里恵、奈良県 御池友里子、鳥取県 田淵厚志、岡山県 平松春美、広島県 藤本伸一、香川県 河田善子、愛媛県 西谷佳真、高知県 山本麻由、福岡県 橋義和、長崎県 神崎修、熊本県 坂本翔太郎、大分県 若原裕里、宮崎県 末吉大介、鹿児島県 加藤将史、沖縄県 大嶋絵里香、今井俊二

本誌掲載記事の複写・複製・転載・磁気媒体・光ディスクへの入力および要約を小社の許諾なく行うことを禁じます。これらについては小社まで照会ください。著作権担当☎03-3518-8844


山形県 YAMAGATA

知事選のため未掲載となります。



佐竹敬久知事
たけたけ かつひさ

産業総産出額	112万4000A
人口	118万9000人
県内総生産シェア	0.8%
農業産出額	212億8000円
漁業産出額	5500円
畜産産出額	37,84000円
森林率	72%
林地利用率	89.4%
労働人口	59万2000人
完全失業率	2.2%
一世帯あたりの所得	1168万9000円
合計特殊出生率	1.47
高齢化率	29.9%
食料自給率	161%
東京圏人口	4,223,300人
前期比	▲3.5%
NPOの数	434
エコファーマーの数	22
農業生産関連事業体数	1820
大学数	6
エコファーマーの数	7399
法人数	1万9230
出生数	348304人



雪王の樹氷

茨城県 IBARAKI

日本や世界の発展の一翼を担う茨城県



橋本昌知事
はしimoto かつひさ

茨城県は高度なものづくり産業や最先端の科学技術の集積、全国第2位の産出額を誇る農業など、大きな発展可能性を有しており、これからの日本や世界の発展の一翼を担う県です。また、日本遺産の弘道館や日本三名園の偕楽園などの名所・旧跡、笠間焼や結城紬などの伝統工芸品、あんこう(鍋)や常陸牛などの豊かな食、県内各地の特色ある温泉、ゴルフ場など魅力にあふれています。茨城にぜひお越しください。

次の一手 本年4月から茨城を舞台にしたNHK連続テレビ小説「ひよっこ」が放映されます。豊かな食や自然、人情といった茨城の魅力を県民総ぐるみでPRしてまいります。科学技術や農業など本県の潜在力を生かし、生活や産業などの分野でイノベーションを創出しながら、地方創生に取り組んでまいります。

「西のふく、東のあんこう」と並び称される、茨城の冬の味覚「あんこう鍋」



100種3000本の梅が、かぐわしい早春を告げる日本三名園のひとつ「偕楽園」

産業総産出額	291万7000A
人口	100万9000人
県内総生産シェア	2.3%
農業産出額	4292億円
漁業産出額	22万3400円
畜産産出額	5万2000円
森林率	31%
林地利用率	89.2%
労働人口	151万3000人
完全失業率	2.6%
一世帯あたりの所得	1461万6000円
合計特殊出生率	1.43
高齢化率	25.8%
食料自給率	74%
東京圏人口	▲17.4
前期比	1.1
NPOの数	803
エコファーマーの数	8
農業生産関連事業体数	2020
大学数	9
エコファーマーの数	5858
法人数	4万7213
出生数	11万5113人

秋田県 AKITA

高質な田舎、秋田の冬を楽しむ

寒い冬も雪国ならではの魅力があります。横手のかまくらや森吉山の樹氷では雪の美しさを体感でき、鹿角の大日堂舞楽や大仙市刈野の大綱引きでは、地域で受け継がれてきた伝統に触れることができます。また、秋田犬発祥の地でもある大館のアメッコ市やかほの掛魚まつりや湯沢の犬っこまつり、などの多彩な地域風俗は、各地の活気あふれる姿を見せてくれます。冬こそ秋田の祭りや温泉、日本酒で心身を温め、元気になっていただきたいと思います。

次の一手 人口減少の抑制と地域の活性化をはかるための取り組みを集中的に進めており、人口減少抑制の大きな鍵となる社会減の縮小に向けて、とくに高校生の県内就職率の向上、航空機など新しい分野での若者の雇用拡大、女性の活躍推進に一層力を入れて取り組んでまいります。



左:秋田犬 右:横手のかまくら



産業総産出額	102万3000A
人口	127万3000人
県内総生産シェア	0.7%
農業産出額	1473億円
漁業産出額	7200円
畜産産出額	1万7800円
森林率	72%
林地利用率	84.9%
労働人口	51万5000人
完全失業率	2.9%
一世帯あたりの所得	1140万8000円
合計特殊出生率	1.34
高齢化率	32.6%
食料自給率	190%
東京圏人口	▲21.1
前期比	5.3
NPOの数	340
エコファーマーの数	17
農業生産関連事業体数	1130
大学数	7
エコファーマーの数	1446
法人数	1万6377
出生数	34万4773人

福島県 FUKUSHIMA

光り輝く宝の山、福島

福島県はさまざまな課題に挑戦しながら復興への歩みを着実に進めております。皆様のこれまでのご支援に深く感謝申し上げます。福島県には、磐梯山や猪苗代湖をはじめとする雄大な「自然」、県内各地に息づく奥深い「伝統文化」、国内外で高い評価を頂いている「日本酒」、135カ所ある良質な「温泉」、温かい「人柄」など、数多くの宝があります。多くの皆様に実際に福島に来て、見て、味わって、笑顔になっていただきたいと思っております。

次の一手 東日本大震災から丸6年が経過しますが、福島県の復興はまだ途上です。避難地域の復興・再生と、本県ならではの地方創生に全力で取り組んでまいります。避難地域の帰還に向けた環境整備はもとより、人的交流のさらなる活性化をはかりながら、定住・二地域居住も推進してまいります。



左:全国新酒鑑評会全賞受賞数4年連続日本一の日本酒 右:江戸時代の町並みを今に残す「大内宿」



産業総産出額	191万4000A
人口	100万9000人
県内総生産シェア	1.4%
農業産出額	1837億円
漁業産出額	5万9900円
畜産産出額	5万1800円
森林率	71%
林地利用率	74.7%
労働人口	100万5000人
完全失業率	2.5%
一世帯あたりの所得	1220万9000円
合計特殊出生率	1.58
高齢化率	27.8%
食料自給率	77%
東京圏人口	▲24.2
前期比	▲7.4
NPOの数	887
エコファーマーの数	15
農業生産関連事業体数	1910
大学数	8
エコファーマーの数	1万4425
法人数	3万8555
出生数	7万1746人

新華僑

華北導報
インタビュー

世界特許の技術と開発力で つくばから上場企業を目指す



王波

おうは
つくばテクノロジー株式会社
代表取締役社長

1960年中国陝西省漢中市生まれ。82年西安電子科技大学電子工学科卒業。86年同大大学院電子工学科修了。同大学電子工学研究所、電子機械工学系で助手を経て、電子エンジニア、講師に。93年来日、筑波大学大学院工学研究科構造工学専攻入学。95年修了。99年同大学大学院工学研究科物理工学専攻。博士課程単位取得満期退学。通信総合研究所、産業技術総合研究所の研究者、契約職員などを経て、2005年つくばテクノロジーを設立。06年に日本非破壊検査協会の奨励賞、07年に可視化情報学会の学会賞（技術賞）、14年に「Japan Venture Awards 2014」と「常陽ビジネスアワード2013」、15年「いばらき産業大賞」と「第6回ものづくり日本大賞」、16年に「第1回JEITAベンチャー賞」と「新価値創造賞2016」など各種の賞を受賞。

日本を代表する学術都市、茨城県つくば市でレーザー超音波可視化検査装置やX線検査装置などの開発・製造を行うベンチャー企業、つくばテクノロジー株。同社の王波社長に、来日から現在にいたるまでの歩みと、研究開発の内容について話してもらった。

情報交流 促進交流

前全国政治協商会議主席、元政治局常務委員の李瑞環先生が、87年11月の来日に際し揮毫。弊誌編集長の古川猛に対し日中のマスコミ交流を願って「伝播情報促進交流」という一文と「華北導報」という題字を頂戴した。

李 軼豪・中国国際放送局東京支局長 来日する前の生活についてうかがいたのですが。

王波・つくばテクノロジー代表取締役社長 私の生まれ故郷は中国陝西省の漢中市です。小さい頃からモノづくりが大好きで、「千里眼」のリーダー知識を学ぶために1978年に西安市の西安電子科技大学電子工学科に入学しました。

李 78年に大学入学といえば、文化大革命の直後ですね。
王 そのとおりです。文化大革命のために10年間実施されなかった大学入試（高考）が77年に再開され、私は文革終了後の最初の大学生のひとりとして、翌年の78年10月に入学することができました。学部と大学院では

主にリーダーシステム、電子回路、デジタル信号処理を学び、修士修了後は西安科学技術大学で助手、電子エンジニア、講師を務め、リーダー信号処理システム、ロボット、そして今もわたしの主力製品のひとつになっているX線非破壊検査装置の開発や学部生の卒業指導などを行いました。

李 来日の経緯についてお話しください。
王 私の研究分野は回路設計、信号処理、パワーエレクトロニクス、X線検査装置の開発といった分野なのですが、その分野の最先端技術を学びたいと考え、93年に筑波大学に私費留学しました。実はアメリカ留学も考えていたのですが、西安で同じ大

学の講師だった私の妻がひと足先に筑波大学博士課程に国費留学生として留学し、数学と社会学を学んでいたこともあって、日本留学を決意しました。

李 ところで、王さんが手掛けているX線非破壊検査装置とはどのようなものなのでしょう。
王 X線非破壊検査装置とは、X線を使って検査対象に触れることなく内部の構造を検査するもので、出荷前の製品の品質検査や解体するのが難しいものの内部の傷や腐食などを発見するのに使われています。

診断装置」の大家であったことから物理工学、さらにはいまや日本の国策になっていく医工連携に真剣に取り組むようになりました。そして、井上先生の指導のもと、ゼミや実学でMRIやCT、そしてそのアルゴリズムを研究しました。筑波大学修了後は独立行政法人通信総合研究所で、遠隔医療手術システムに使用する2Dと3D画像再構成アルゴリズムおよび応用ソフトウェアの開発に関する研究などを担当しました。その後、2001年からは独立行政法人産業技術総合研究所（産総研）の研究者や契約職員としてレーザー超音波損傷診断技術の開発などに取り組みました。産総研には10年近く在籍し、研究・開発に従事させてもらいました。

王 それまでに開発したシステムや培った技術を入りの暮らしに役立てたいと考え、産総研技術移転ベンチャーとしてつくばテクノロジーを設立しました。「パルスレーザーを用いた超音波可視化技術」を基にした、映像化超音波探傷装置の設計、開発、製作、販売、保守事業」を事業内容として4人のメンバーで創業しましたが、全員が技術畑だったので、営業・販売に関しては苦労もありました。それでもなんとか経営を軌道に乗せることができ、現在では開発、総務、営業合わせて20人という社員規模になりました。

李 主力製品について説明してください。
王 当社の主力製品はレーザー超音波可視化検査装置「LUVI」シリーズです。これはレーザーを金属やセラミッ



クス、樹脂などの対象物の表面に当て、内部の亀裂、腐食、剥離を見つけ、それを映像化（可視化）して検査するというもの。従来は熟練者が超音波探傷器を用いて物体内部に超音波を入射し、その反射波を聴き分けていたのですが、この装置なら慣れない人でも画像で見分けることができます。そのうえ、複雑な形状の物体はもちろん、曲面部や凸凹部、狭い部などの検査にも使えます。世界で唯一の技術を使った最新の「超音波の波を動画で見られる」装置として、国内外の鉄鋼、航空宇宙、自動車といった産業や、発電プラントをはじめとした社会インフラなどで採用されています。

李 このほかの製品についてはいかがでしょうか。
王 もうひとつの柱は産業用小型X線検査装置です。本装置は、小型・軽量でかつ予熱することなくX線の発生が可能で、1000万回以上の撮影、単3乾電池で60kV〜150kVのX線の発生が可能で省電力な点がさまざまな特徴を備えています。テレビくらいの大きさから手のひらに載る世界最小サイズまでラインアップは多岐にわたっており、従来は困難だった狭い場所での検査も可能です。最近では小型化、可視化、無線化、スマート（自動）化によって、安全で効率的な検査ができる世界トップ標準の装置という評判

をいただいています。
李 目標を教えてください。
王 上場を目指しているのもっとも会社の認知度を高めたいです。2020年の東京オリンピックに向けてセキュリティ検査などで警察、公安などからも問い合わせもきており、今後、検査分野の需要は拡大すると確信しています。海外市場の拡大も進め、「つくばから世界へ」をスローガンにして発展していきたいと思っています。そして、これからも技術者として日中友好の使者になれるよう、がんばっていききたいですね。

李 軼豪

りいつごう
中国国際放送局東京支局長

1978年中国吉林省生まれ。2005年に北京外国語大学で修士号を修得。中国国際放送局に入局。2014年8月から中国国際放送局東京支局に駐在。現在東京支局支局長。